



Informatica® Multidomain MDM  
10.4

# Multidomain MDM のクイックスタートマニュアル

Informatica Multidomain MDM Multidomain MDM のクイックスタートマニュアル  
10.4  
2020 年 3 月

© 著作権 Informatica LLC 2018, 2020

発行日: 2020-06-05

# 目次

抽象型.....	iv
<b>第 1 章 : Multidomain MDM のドキュメントマップ.....</b>	<b>5</b>
概要.....	5
誰が Multidomain MDM を使用するのか?.....	6
自分に関連するガイドは?.....	7
最初に読むべきガイドは?.....	8
各ガイドの説明内容は?.....	9

# 抽象型

Informatica<sup>(R)</sup> *Multidomain MDM* のクイックスタートマニュアルを読み、関連するガイドについて確認してください。*Multidomain MDM* のクイックスタートマニュアルでは、ガイドを推奨し、ガイドの読み順を一覧で示し、各ガイドをまとめています。

# 第 1 章

## Multidomain MDM のドキュメントマップ

この章では、以下の項目について説明します。

- [概要, 5 ページ](#)
- [誰が Multidomain MDM を使用するのか?, 6 ページ](#)
- [自分に関連するガイドは?, 7 ページ](#)
- [最初に読むべきガイドは?, 8 ページ](#)
- [各ガイドの説明内容は?, 9 ページ](#)

### 概要

このドキュメントは、Multidomain MDM のドキュメントセットを理解し、自分に関連があるガイドを判断するための出発点です。はじめにユーザータイプと Multidomain MDM の操作方法を特定し、次に従うべきガイドの推奨事項や読み順を決定します。詳細については、そのガイドの説明をご覧ください。

このドキュメントには、次の質問に答えるセクションが含まれています。

**誰が Multidomain MDM を操作するのか?**

Multidomain MDM を操作するチームとユーザーを定義します。

**自分に関連するガイドは?**

Multidomain MDM の操作方法に基づいて関連ガイドをグループ化します。

**最初に読むべきガイドは?**

Multidomain MDM でタスクを実行するときのガイドの読み順を示します。

**各ガイドの説明内容は?**

各ガイドの目的を説明します。

# 誰が Multidomain MDM を使用するのか？

組織で Multidomain MDM を購入する場合、最初に行うことは実装チームの編成です。チームが Multidomain MDM を実装すると、データスチュワードとビジネスユーザーがマスタデータにアクセスして管理できるようになります。

## 実装チーム

実装チームには、技術者、ビジネスアナリスト、実装者、MDM 管理者が含まれます。実装チームのメンバは、プロジェクトの目標と要件を決定します。Multidomain MDM のインストール環境、トポロジ、機能、データモデル、データフロー、ルールを計画します。

### 技術者

技術者はハードウェアおよびソフトウェア環境をセットアップし、Multidomain MDM をインストールし、Multidomain MDM を他のアプリケーションと統合する場合があります。技術者には、システム管理者、データベース管理者、アプリケーションサーバー管理者、およびソフトウェア開発者が含まれます。

### ビジネスアナリスト

ビジネスアナリストは、ビジネスを理解し、データを Multidomain MDM に提供するソースシステムに精通している人々です。彼らは、ビジネスのニーズを反映するルールとデータフローの要件を定義できます。

### MDM 実装者

実装者は、Multidomain MDM の実装を設計、開発、テスト、およびデプロイします。実装者は、Multidomain MDM の実装がビジネスのニーズを確実に満たすように、実装チームの他のメンバから要件を収集します。実装者は、データモデル、一致ルール、データフロー、およびその他すべての要件を作成します。

### MDM 管理者

MDM 管理者は、ユーザーロールを作成して割り当て、必要に応じて Multidomain MDM を更新します。MDM 管理者は、後でその保守ができるように、実装の設計に参加する必要があります。

## MDM ユーザー

MDM ユーザーは、Multidomain MDM の実装を使用および管理するユーザーです。

### データスチュワード

データスチュワードは、データ品質に責任を負います。データスチュワードは、類似のレコードを確認し、重複レコードをマージし、マスタデータへの変更を承認します。

### ビジネスユーザー

ビジネスユーザーは、Data Director アプリケーションまたはサードパーティアプリケーションを介してマスタデータを操作します。一部のビジネスユーザーは、マスタデータを編集および作成する権限を持つ場合があります。他のユーザーは、マスタデータへの変更と追加を承認する必要がある確認ワークフローに参加する場合があります。MDM 管理者は、ビジネスユーザーにロールを割り当て、マスタデータへのアクセスを制御します。

### MDM 管理者

MDM 管理者は、Multidomain MDM の実装を管理および保守します。

# 自分に関連するガイドは？

Multidomain MDM のインストール、設定、管理、使用、またはアップグレードに役立つ多くのガイドが利用可能です。

次の図は、Multidomain MDM の操作方法に基づいた推奨ガイドとオプションガイドを示しています。

	Recommended	Optional
<b>Release Information</b>	Release Guide Release Notes	
<b>Install</b>	Infrastructure Planning Guide Installation Guide Cleanse Adapter Guide	Zero Downtime Installation Guide
<b>Configure</b>	Business Entity Services Guide Configuration Guide Overview Guide Provisioning Tool Guide	Resource Kit Guide Sample ORS Guide Security Guide Services Integration Framework Guide
<b>Administer</b>	Configuration Guide Overview Guide Performance Tuning Guide Repository Manager Guide	Data Controls Implementation Guide Data Director Migration Guide Data Director Implementation Guide
<b>Use</b>	Data Director User Guide Data Steward Guide Overview Guide	
<b>Upgrade</b>	Upgrade Guide	Zero Downtime Upgrade Guide

## 最初に読むべきガイドは？

Multidomain MDM で実行しているタスクに合わせて、特定の順序でガイドを読むことができます。

次の図は、いくつかのタスクに応じたガイドの読み順を示しています。

Task	User or Team Responsible	Documentation Flow
Installing MDM	Implementation Team	Infrastructure Planning Guide → Installation Guide
Configuring MDM	Implementer and MDM Administrator	Overview Guide → Configuration Guide → Provisioning Tool Guide
Using MDM	Data Stewards and Business Users	Overview Guide → Data Director User Guide
Running MDM Processes	MDM Administrator	Overview Guide → Configuration Guide
Upgrading MDM	MDM Administrator and Technical Specialist	Release Guide → Release Notes → Upgrade Guide
Configuring Data Director Applications with Subject Areas	MDM Administrator	Configuration Guide → Data Director Implementation Guide
Migrating Data Director Applications from Subject Areas to Business Entities	MDM Administrator	Data Director Migration Guide → Provisioning Tool Guide
Configuring Data Director Applications with Business Entities	MDM Administrator	Configuration Guide → Provisioning Tool Guide



## 各ガイドの説明内容は？

各ガイドでは、主な概念を説明しているか、またはツールの使用に役立ちます。ガイドの説明を読んで、必要な情報がガイドに含まれているかどうかを確認してください。

次の表は、Multidomain MDM のドキュメントセットのガイドについて示します。

名前	説明	ユーザー	目的
<a href="#">Business Entity Services Guide</a>	サービスを使用してビジネスエンティティにアクセスする方法について説明します。ビジネスエンティティは、顧客、場所、製品など、人、場所、または物です。EJB、SOAP、および REST API 呼び出しに関する情報が含まれています。また、サードパーティツールへの外部呼び出しを作成する方法についても説明します。	技術者	設定
<a href="#">Cleanse Adapter Guide</a>	Multidomain MDM で動作するようにクレンジングエンジンを設定する方法について説明します。クレンジングエンジンを使用して、マスタデータをクレンジング、トランスフォーム、および検証します。	実装者 MDM 管理者	インストール
<a href="#">Configuration Guide</a>	Multidomain MDM の設定方法、データモデルの構築方法、プロセスの実行方法について説明します。	実装者 MDM 管理者	設定 管理
<a href="#">Data Controls Implementation Guide</a>	サードパーティアプリケーション内で Multidomain MDM データを使用する方法について説明します。Informatica Data Controls はオプションでライセンス供与された機能です。	技術者	設定
<a href="#">Data Director Implementation Guide</a>	Data Director レガシーアプリケーションの設定方法について説明します。データスチュワードとビジネスユーザーは、アプリケーションを使用してマスタデータにアクセスし、管理します。マスタデータへの追加と変更は、マネージャが更新を承認する必要があるビジネスプロセスワークフローを経由できます。 <b>注:</b> レガシーアプリケーションは、サブジェクト領域に基づいています。サブジェクト領域は、ビジネスパースペクティブの単位として扱われるデータの集合を表します。ビジネスエンティティに基づく最新のアプリケーションを実装するには、 <i>Multidomain MDM のプロビジョニングツールガイド</i> を参照してください。	実装者 MDM 管理者	設定（レガシー）
<a href="#">Data Director Migration Guide</a>	Data Director アプリケーションをサブジェクト領域からビジネスエンティティに移行する方法について説明します。ビジネスエンティティは、アプリケーションに適したデータ構造です。	実装者 MDM 管理者	設定

名前	説明	ユーザー	目的
<a href="#">Data Director User Guide</a>	Data Director アプリケーションでマスターデータを作成、使用、管理、および監視する方法について説明します。	データスチュワード ビジネスユーザー	使用
<a href="#">Data Steward Guide</a>	Hub コンソールのデータスチュワードワークベンチを使用して、データスチュワードがデータを整理およびマージする方法について説明します。 <b>ヒント:</b> データスチュワードは、多くの場合 Data Director アプリケーションを使用することを選択します。	データスチュワード	使用
<a href="#">Infrastructure Planning Guide</a>	Multidomain MDM 環境のインフラストラクチャおよびアーキテクチャを計画するために役立ちます。このガイドには、インストールポロジのサンプルが含まれています。	実装チーム	インストール
インストールガイド	選択したデータベースおよびアプリケーションサーバー環境で Multidomain MDM をインストールしてセットアップする方法について説明します。  Multidomain MDM には、次の環境用の個別のインストールガイドがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <a href="#">IBM Db2 and Red Hat JBoss</a></li> <li>- <a href="#">IBM Db2 and IBM WebSphere</a></li> <li>- <a href="#">Microsoft SQL Server and Red Hat JBoss</a></li> <li>- <a href="#">Microsoft SQL Server and Oracle WebLogic</a></li> <li>- <a href="#">Microsoft SQL Server and IBM WebSphere</a></li> <li>- <a href="#">Oracle Database and Red Hat JBoss</a></li> <li>- <a href="#">Oracle Database and Oracle WebLogic</a></li> <li>- <a href="#">Oracle Database and IBM WebSphere</a></li> </ul>	実装チーム	インストール
<a href="#">Overview Guide</a>	Multidomain MDM アーキテクチャを説明し、主な概念を定義します。	すべて	設定 管理 使用
<a href="#">Performance Tuning Guide</a>	Multidomain MDM の全体的なパフォーマンスを最適化するのに役立ちます。	MDM 管理者	管理
<a href="#">Provisioning Tool Guide</a>	ビジネスエンティティ、ビジネスエンティティビュー、トランスフォーメーション、Data Director アプリケーション、タスク、およびフルテキスト検索を設定する方法について説明します。	実装者 MDM 管理者	設定 管理
<a href="#">Release Guide</a>	新機能と拡張機能、バージョン間での動作の変更、および以前のバージョンからアップグレードした後に実行する必要のあるタスクについて説明します。 <b>重要:</b> Multidomain MDM をアップグレードする前に、このドキュメントをよくお読みください。	MDM 管理者	アップグレード

名前	説明	ユーザー	目的
<a href="#">Release Notes</a>	リリースの解消された制限事項、実装された拡張要求、および既知の制限事項を示します。 <b>重要:</b> Multidomain MDM をアップグレードする前に、このドキュメントをよくお読みください。	MDM 管理者	アップグレード
<a href="#">Repository Manager Guide</a>	メタデータを検証、リポジトリ間でオブジェクトをコピー、スキーマを視覚化、およびリポジトリを XML ファイルにエクスポートする方法について説明します。 Multidomain MDM では、リポジトリに格納されるメタデータは、データモデルと関連する構成設定を記述します。	MDM 管理者	管理
<a href="#">Resource Kit Guide</a>	Multidomain MDM リソースキットのツール、サンプル、およびその他のリソースのコレクションを使用する方法について説明します。例えば、キットには、自動化、バッチ処理、暗号化、およびレポート用のツールが含まれています。キットには、サンプルオペレーショナル参照ストア (ORS)、サンプル Data Director アプリケーション、およびサービス統合フレームワーク SDK も含まれています。	実装チーム	設定
<a href="#">Sample ORS Guide</a>	サンプルリポジトリについて説明します。リポジトリには、データモデルのメタデータ、データクレンジングマッピング、一致ルールなどのスキーマ要素と構成が含まれています。	実装者	設定
<a href="#">Security Guide</a>	Multidomain MDM が不正アクセスや改ざんからデータを保護して、情報のプライバシーとデータの整合性を保護する方法について説明します。また、ユーザーとロール、セキュリティプロバイダ、およびパスワードハッシュの設定方法についても説明します。	MDM 管理者	設定
<a href="#">Services Integration Framework Guide</a>	サービス統合フレームワーク (SIF) API 呼び出しの使用方法について説明します。Multidomain MDM を他のアプリケーションと統合したり、Multidomain MDM データを使用するアプリケーションを作成したり、Multidomain MDM の動作をカスタマイズしたりできます。	技術者	設定
<a href="#">Upgrading from Version 10.1, 10.2, or 10.3</a>	Multidomain MDM バージョン 10.x を最新バージョンにアップグレードする方法について説明します。 10.x より古いバージョンからのアップグレードについては、Informatica グローバルカスタマサポートにお問い合わせください。	MDM 管理者 技術者	アップグレード